

## 資料一2

府中市災害対策本部による東日本大震災  
への対応について

府中市防災会議地震部会

## 府中市災害対策本部による東日本大震災への対応について

### 1 被害の概要

- (1) 3月11日(金)14時46分ごろに発生した東北地方太平洋沖地震では、発生直後の3時に災害対策本部を立ち上げ、4時から第1回災害対策本部会議を開催し、情報収集を行い、今後の対策を協議しました。
- (2) 市内の被害状況は、ケガでは大腿骨骨折の負傷者が1名のみです。建物被害では、10階建マンションの7階外階段踊り場の一部崩落の報告がありました。
- (3) 庁舎については、キャビネットの落下、ラックの転倒、プリンターの落下、壁や階段にクラックの発生、窓ガラスのひび割れ、照明ガラス器具の破損などの被害がありました。
- (4) 市施設については、ルミエール府中コンベンションホールDの天井内装材の一部、凡そ30平方センチメートルが剥離し落下しました。このため、安全が確認されるまで、同日より3月16日(水)まで貸し出しを中止としました。

また、府中の森芸術劇場どりーむホールでは、天井内装ボードの一部30平方センチメートル大のものが2か所落下しました。

郷土の森博物館では、常設展示室の天井材長さ180センチメートルの鉄パイプが落下したので、常設展示室を閉鎖しました。いずれの破損についても、人身事故にはなりませんでした。

### 2 駅前滞留者（帰宅困難者）に対する対応

京王線、JR線が地震発生後全線不通となり、そのため、滞留者が駅周辺に発生しました。

府中駅の滞留者は、府中グリーンプラザけやきホールに400人避難し、第一小学校に150人、中央文化センターに30人が避難し、府中本町につきましては第三小学校に400人、第三中学校に240人が避難しました。多磨霊園駅では、第九中学校に80人が避難し、住吉文化センターでは中河原駅滞留者及びマンションのエレベーターが停止して帰宅できない障害者が10人避難しました。22時10分に京王線が運転再開し、南武線が翌朝12日午前7時過ぎに運転を再開したため、再開とともに避難者が減り、各避難所は、府中グリーンプラザは午前7時には全員が退去し、第九中学校が7時15分に、第三小学校が7時45分に、第一小学校及び住吉文化センターが8時に、中央文化センターが8時23分に退去が完了しました。なお、北府中駅では100人の駅前滞留者が出ましたが、帰宅困難者とはなりませんでした。

### 3 東京電力による計画停電

東京電力福島第一、第二原子力発電所の停止により電力不足が発生し、輪番

停電が14日から実施されました。停電対象地域及び停電時間帯については東京電力の発表に基づいて、防災行政無線、市ホームページ、安全安心メールを活用して市民に周知しました。

しかし、当初は東京電力からの情報が不正確かつ提供される時間が遅く、情報が前後して市民への周知が十分にできていない状況がありました。結果、市民からの問い合わせが本庁舎及び中央防災センターに殺到したため、コールセンターを開設し電話対応に当たりました。

また、東京電力に対しても対応要員の派遣を求め、3月15日から3月末まで連日2名の社員の派遣を受けました。

#### 4 被災地に対する支援

国府サミット開催により交流のある宮城県多賀城市は、人口6万2千人のうち8千3百人を超える市民が避難所生活を送っていたことから、先方の要請により支援物資を届けました。

##### (1) 第1陣 3月18日出発（派遣職員7名）

支 援 物 資	
マスク	2,000枚
トイレットペーパー	1,000ロール
ごみ袋	2,000枚
風邪薬幼児用	3,400包
風邪薬大人用	10,000包
アルファ米	12,400食
飲料水	1,000ℓ
タオル	80本

##### (2) 第2陣 3月22日出発（派遣職員6名、うち2名は消防団）

支 援 物 資	
給食用カップ、コップ	10,000個
乾電池(単1)	2,000本
PPC用紙	61箱
ポリバケツ	10個
カセットコンロ、ガスボンベ	10台、15本
泥除けマット	10枚

##### (3) 消防団の協力

積載車両には、ごみ改革推進本部リサイクルプラザの2トン車を使用し、タイヤがノーマルタイヤのため、消防団ポンプ車のスタッドレスタイヤと交換作業を済ませ、走行の安全を確保しました。

##### (4) 職員の派遣

東京都市長会を構成する多摩26市と協力し、被災地支援のため本日まで11名の職員を現地に派遣しました。今後も被災地からの要請に基づき、

職員を派遣する予定です。

#### 5 避難者の緊急受入れ

3月17日の本部会議で、受入可能施設として生涯学習センター、市民保養所「やちほ」、八ヶ岳府中山荘、介護予防推進センターを決定し、その後、受入れ条件等を各担当部が作成しました。当初、生涯学習センター及び八ヶ岳府中山荘から順次受入れを行いました。

#### 6 避難者の車両の受入れ

3月16日付で警視庁及び東京都から協力依頼のありました避難者の車両の受入れについては、平成23年3月19日(土)から4月28日(木)まで郷土の森博物館立体駐車場で7台の受け入れを実施しました。

#### 7 義援金、救援物資の受付け状況

義援金については、全国市長会を通じて被災地に送金するため、3月15日から地域福祉推進課窓口で受付けを開始しました。また、各文化センター、女性センター、生涯学習センター等、各施設でも順次、募金箱を設置し受け付けをしているところです。

地域福祉推進課の受付状況ですが、6月30日現在、1億46万4729円となっています。

次に、救援物資については、宮城県多賀城市の要請に基づき、現地で不足している物資について寄付を地域福祉推進課窓口で受け付け、4月20日に現地に送付しました。